

償却資産申告書及び種類別明細書の書き方(記載例)申告書の記入例

(1) 償却資産申告書(償却資産課税台帳)

1【住所】

- ①個人の場合は、所有者の住所を記入してください。
②法人の場合は、本社(本店)の所在地を記入してください。

2【氏名】

- ①個人の場合は所有者の氏名(ふりがな)及び屋号を記入してください。
②法人の場合は、名称及び代表者氏名(ふりがな)を記入してください。

【年度】

申告する1月1日現在の和暦の年を記入してください。

3【個人番号又は法人番号】

マイナンバー又は法人番号を記入してください。
不明な時は、記入しないでください。

4【事業種目(資本等の額)】

- ①事業種目を具体的に記入してください。
②法人の場合は、資本金又は出資金等の額を記入してください。

5【事業開始年月】

- ①個人の場合は事業を開始した年月を記入してください。
②法人の場合は、設立年月と、決算月を()に記入してください。

6【この申告に応答する者の係及び氏名】

この申告内容に直接応答できる方の係名、氏名及び電話番号を記入してください。

7【税理士等の氏名】

経理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。

「所有者コード」

印字されていない場合は、記入する必要はありません。
eLTAX又は独自の様式で申告される場合は、必ず印字された9ケタのコードを転記してください。

8～14の事項

該当する方を○で囲んでください。

15「資産の所在地」

「1」欄の住所と資産所在地が異なる場合や、市内に2箇所以上の資産所在地がある場合は必ず記入してください。

16「借用資産」

土地及び家屋以外の借用資産の有無について該当する方を○で囲み、「有」の場合は貸主の住所氏名等を記入してください。

17「事業所用家屋の所有区分」

該当する方を○で囲んでください。

18「備考(添付書類等)」

資産の異動について、該当する項目を○で囲んでください。
また、添付書類の名称等その他この申告に必要な事項及び参考となる事項を記入してください。

【取得価額】

- (イ)前年前に取得したもの
①前年度申告された方は、申告した資産の全部について、取得価額を記入してください。
②今年はじめて申告される方については、新たに記入してください。
(ロ)前年中に減少したもの
前年中に減少した資産の取得価額の合計金額を種類別に記入してください。
(ハ)前年中に取得したもの
前年中に取得した資産の取得価額の合計金額を種類別に記入してください。

令和〇〇年1月〇〇日		令和 年度		男鹿市長様		※ 所有者コード		男鹿市	
受付印		償却資産申告書(償却資産課税台帳)							
所 有 者	1 (ふりがな)住所 又は納税通知書送達先	〒010-0595 おかし 〇〇〇〇〇〇 男鹿市〇〇〇〇〇〇 〇〇番地〇〇 (電話 0185-〇〇-〇〇〇〇)				3 個人番号又は法人番号		8 短縮耐用年数の承認	有 ・ 無
	2 (ふりがな)氏名 法人にあってはその名称及び代表者の氏名	お が た ろう 男 鹿 太 郎 (屋号)				4 事業種目 (資本金等の額) (百万円)		9 増加償却の届出	有 ・ 無
					5 事業開始年月 (決算月 年 月)			10 非課税該当資産	有 ・ 無
					6 この申告に应答する者の係及び氏名 (電話)			11 課税標準の特例	有 ・ 無
					7 税理士等の氏名 (電話)			12 特別償却又は圧縮記帳	有 ・ 無
								13 税務会計上の償却方法	定率法 ・ 定額法
								14 青色申告	有 ・ 無
資 産 の 種 類		取 得 価 額						15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地	① ② ③
		前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計(イ)-(ロ)+(ハ) (ニ)				
	1 構 築 物	十億 百万 千円 円	十億 百万 千円 円	十億 百万 千円 円	十億 百万 千円 円				
	2 機 械 及 び 装 置	5 000 000	2 000 000	2 500 000	5 500 000				
	3 船 舶								
	4 航 空 機								
	5 車 両 及 び 運 搬 具								
	6 工 具、器 具 及 び 備 品								
	7 合 計	5 000 000	2 000 000	2 500 000	5 500 000				
資 産 の 種 類		評 価 額 (ホ)		※ 決 定 価 格 (ヘ)		※ 課 税 標 準 額 (ト)		16 借 用 資 産 (有・無)	貸主の名称等
	1 構 築 物	十億 百万 千円 円	十億 百万 千円 円	十億 百万 千円 円	十億 百万 千円 円				
	2 機 械 及 び 装 置								
	3 船 舶								
	4 航 空 機								
	5 車 両 及 び 運 搬 具								
	6 工 具、器 具 及 び 備 品								
	7 合 計								
		記入する必要はありません ただし、自社電算(電算処理)による全資産申告の場合は記入してください。						17 事業所用家屋の所有区分	自己所有 ・ 借家
								18 備考(添付書類等) 該当する欄に○をつけてください。	
								1 変更なし	2 増減あり
								3 増加あり	4 減少あり
								5 該当資産なし	
								6 廃業・解散等	
								(年 月 日)	
								7 社名・住所等変更	

※新たに申告される方は記入例をもとに作成してください。
※前年度申告された方は事前印字を行っておりますので、印字されている項目に変更、誤り等がありましたら訂正をお願いします。
※事前印字の申告書は提出用のみをお送りしております。控が必要となる場合はお手数ですがコピーなどで対応願います。
※郵送による提出で受付日付印押印後の控が必要な場合は必ず返信用封筒に送付先を記入し、切手を貼って同封してください。
※提出期限は1月31日までですが、事務処理上、早めの提出をお願いします。

(2) 種類別明細書(第26号様式別表1)の記入例

本市にはじめて申告をされる方には白紙の明細書を送付しています。令和7年1月1日現在、本市において所有している全ての資産を記載してください。

前年までに申告されている資産は、資産の種類、取得年月順に印字していますのでご確認ください。資産に異動や修正があった場合の記載方法は次のとおりです。

- ア 資産が減少した場合
- 【記入例1】 該当する資産の「資産の名称等」から「耐用年数」までを朱書き二重線で抹消し、「摘要」に事由を記載してください。
- 【記入例2】 記載内容の修正又は資産の一部減少の場合は、その箇所に朱書きで2本線を引き、正しい内容を記入してください。

- イ 資産が増加した場合
- 【記入例3】 印字されている行に続けて「資産の種類」、「資産の名称等」から「増加事由」まで記載し、「増加事由」が「1 新品取得」以外の場合は「摘要」に事由を記載してください。

※ 資産の項目を修正する場合は修正する項目を二重線で抹消し、その上に修正後の内容を記載して、「摘要」に修正事項を記載してください。

【資産の種類】
次により記入してください。

1 → 構築物
2 → 機械及び装置
3 → 船舶
4 → 航空機
5 → 車両及び運搬具
6 → 工具及び備品

【資産の名称等】
資産の名称及び規格等を、カナ・漢字・英字及び数字で記入してください。

【取得年月】
資産を実際に取得した年月を記入してください。
年号は以下の数字で記入してください。
3 → 昭和
4 → 平成
5 → 令和

【年度】
申告する1月1日現在の和暦の年を記入してください。

【取得価額】
当該資産を取得するために支出した額(引き取り運賃・荷役費・運送保険料・購入手数料・その他の資産を事業の用に供するため直接要した経費を含む。)を記入してください。

【耐用年数】
減価償却資産の耐用年数等に関する省令により原則として所得税又は法人税の申告で用いたものと同じ年数を記入してください。

【所有者名】
氏名又は名称を記入してください。
ページ数についても記入してください。

【摘要】
当該資産について、次のような事項を記入してください

①課税標準の特例適用資産についてはその適用条項

②耐用年数の変更があった場合は、その旨の表示

③増加償却を行っている場合は、その旨の表示

④その他、その資産の評価に必要な事項

【増加事由】
増加資産を記入した場合にはいずれかを○で囲んでください。

1 → 新品取得
2 → 中古品取得
3 → 移動による受け入れ
4 → その他(摘要に理由を記入)

種類別明細書(増加資産・全資産用)																	
令和 年度																	
※ 所有者コード ※																	
男 鹿 太 郎																	
1 枚のうち																	
1 枚 目																	
行 番 号	資 産 の 種 別	資 産 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取得年月				(イ) 取得価額	(ロ) 耐用年数	減価償却率	※ 課税標準の特例 ※				増加事由	摘 要
					年号	年	月	十億				百万	千	円	率		
01	2	1 1 0 0 2 2 0 1	乾 燥 機	1	4	20	8	2 000 000	7							1・2 3・4	令和4年3月廃棄
02	2	1 1 0 0 2 2 0 2	粉 摺 り 機	1	4	22	9	700 000	7							1・2 3・4	
03	2	1 1 0 0 2 2 0 3	ビニールハウス	1	4	19	3	2 300 000	7							1・2 3・4	
04	2		乾 燥 機	1	5	6	3	2 000 000	7							1・2 3・4	
05	2		珪 塗 機	1	5	6	6	500 000	7							1・2 3・4	
06																1・2 3・4	
07																1・2 3・4	
08																1・2 3・4	
09																1・2 3・4	
10																1・2 3・4	
11																1・2 3・4	
12																1・2 3・4	
13																1・2 3・4	
14																1・2 3・4	
15																1・2 3・4	
16																1・2 3・4	
17																1・2 3・4	
18																1・2 3・4	
19																1・2 3・4	
20																1・2 3・4	
小 計																	

【記入例3】
◎資産が増加した場合
【前年度申告した方】
増加した資産について、資産の種類、資産の名称等、数量、取得年月、取得価額、耐用年数を記入してください。

【初めて申告する方】
全資産について、資産の種類、資産の名称等、数量、取得年月、取得価額、耐用年数を記入してください。

【記入例1】
◎資産が減少した場合（前年度申告した方）
前年度申告した方で、資産が減少した場合は印字されている行を朱書きの二重線で消し、摘要へ廃棄した資産の廃棄理由、廃棄年月などを適宜記載してください。

【記入例2】
◎記載内容の修正又は資産の一部減少（前年度申告した方）
記載されている内容の修正又は資産の一部減少の場合は、その箇所を二重線で消し、正しいものを記載してください。

※電算処理方式により申告を行う場合は、減価残存率価額、課税標準の特例及び課税標準額についても記載をお願いします。

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古取得、3移動による受け入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。